



一月四日から開かれた第32回秋田県児童生徒美術展の入賞者名簿の扉の絵に、五千点を超える参加作品の中から御所野さんの版画が選ばれました。作品は『自転車から見える風景』。陰をつける所、山や田んぼの細かい描き方が難しかった」と御所野さん。指導した大和真理子先生は「身の回りの生活に対する愛着が、ダイナミックな構図で迫力ある作品になった」と喜びの評。合川中学校は今年も五点が入選。「質が高い学校」との評価をいただいているそうです。

県生徒美術展で目次写真に採用

謙沢・御所野 瞳さん(中一)



季節のアップ



除雪風景

今月の紙面から

- 2 面 ふるさと創生事業推進委員会
  - 3 面 婦人問題研究会
  - 4 面 町の教育を語る会
  - 5 面 まとびの里 自然村
  - 6 面 フェンシングスポーツ少年団
  - 7 面 町成人式 母の実30周年
  - 8 面 ふれ合いと文化のつどい
  - 9 面 消防出初式
  - 10 面 町民スキー大会 他
  - 11 面 明るい選挙推進協議会
  - 14 面 多い飲酒運転
- お知らせ

# 町づくりに多くの提言

～ふるさと創生事業推進委員会～

～町基本構想策定委員会～

町では『ふるさと創生事業』推進委員として、三十八人の委員を委嘱しています。委員は地域、職域、年代などを配慮してお願いし、ふるさと創生事業を中心に、幅広い提言をいただいできました。さらに、同じ委員の皆さんを町の基本構想策定委員として委嘱。一月八日、午前と午後に分けて両委員会が開かれ、活発な話し合いが行われました。

ふるさと創生事業推進委員 成果について意見が交わされ会の会議は第五回目。自ら考え自ら行う地域づくり事業として昭和六十三年度から交付されている特別交付金の活用について、広く町民の意向を集めるために開かれているものです。

初めに畠山町長が、これまでの同事業の展開と説明。集約的にふるさと創生事業として行われた、あじさい公園と学童研修センター一带の活用

町側からは▽短期留学者や父兄からの評価は、期待以上のもので、長期留学者への展望を持っている▽地域児童の利用も多く、授業の中でセンターの機能は大きいものがある▽町内児童、都市と農村の児童など違和感の無い交流が進んでいる―などと報告。委員からも▽学童研修センターを訪れた児童の心の成長は見ていて驚くほどだ▽町の物産を紹介する意味でも、学童研修センターの果たす役割りは大きい▽



幅広い参加で町の未来図の話し合い

合川ら

しい施設」という意味で、学童研修センターとあじさい公園は誇れる―など同委員会の中で提言された。次代を担う若者の育成のために、これまでこの事業を、一層充実させようとの意見がまとめられました。

## 学童研修センターに

寮を併設 4年度

一方、▽これからの事業は全町的に利活用ができるものも考えてほしい▽高齢化対策として、農業ができるお年寄り施設を建設してはどうか▽心の財産として、自然体験できる公園を考えたら―▽町民の文化水準を高めるため広く文化活動ができるものがほしい―などの意見が出されました。

町側からは、提案された事業について、農林省関係の補助事業（関の沢公園の拡充）、リゾート公園や福祉エリア事業（高齢者施設）など、他事業での計画について説明しました。

こうした話し合いの中で、

平成四年度事業としては、学童研修センターに、寮施設を建設したいとの委員会の提言がまとめられました。長期留学者の受け入れなど、学童研修センターの活用を、一層広めようというものです。また、基金と次年度以降の事業について、さらに協議を重ねることになりました。

## 町発展の五カ年基本計画を提案

同日、午後からは町の基本構想策定委員会として、会議が行われました。この委員会では昨年二月に平成三年度から平成十二年度までの基本構想を策定。町議会で承認されており、今回は、それを具体化するための基本計画が計られたものです。

- 一、活力に満ちた産業の振興
- 二、うるおいある生活環境づくり
- 三、健康で明るい福祉の里づくり
- 四、心豊かな人づくり―を目標にして、基本施策がまとめられます。

# 「子育て」に心をあわせて

## 合川町の教育を語る会

教育を語る会は、町PTA連絡協議会が主体となって、町内団体、保育園関係者、各種委員などが合川町の求める子ども像を考え合おうと開いているものです。

今年第十三回。ふれ合いと文化の集いにあわせて開かれました。

初めに加藤隆悦P連会長が「一人ひとりの実践の積み重ねをもとに、活発な話し合いを」とあいさつ。木村仁兵衛教育長が「家庭・地域・学校の連携は、増々大切になる」と、行政とも協力して子供の成長を考えようと呼びかけました。

各分科会での話し合いから拾ってみました。

◎あいさつ運動を一層定着させよう。

親から声をかけよう。ほめることで、子どもの励みにしよう。心のこもったあいさつから、ふれ合いが広がる。

◎たくましい心を育てよう。

リーダーを中心に外で遊ばせよう。親も子どもといっしょに汗を流す姿勢を示そう。お金のあげすぎも問題。がまんする心、ハングリー精神が必要だ。

◎「福祉の町」にふさわしい豊かな心を育てよう。

## 町議会議長に高橋仁一郎氏 副議長に福田一衛氏

十二月二十七日、町議会臨時会が開かれました。臨時会では斉藤孝蔵議員の議員辞職願いを許可。新

議長に高橋仁一郎副議長を選出。新副議長には福田一衛議員が選ばれました。

中学生の除雪奉仕など、責任を持ってがんばっている。マト火など、地域の一人としての活動を大切にしよう。よその子どもも地域の子どもの意識で声をかけ合おう。

◎家庭内の会話をふやそう。

テレビを見ない食事にしよう。子どもの悩みに、心を傾けよう。家庭の時間を増やす努力をしよう。

◎児童の交通安全対策をさらに徹底しよう。

ストップマークの設置を全町に広めよう。

◎学校週休二日制について考え合おう。

学校週休二日制は、平成四年九月から月一回実施の方向。学校、地域が一体となって、そのあり方を考えよう。

教育を語る会では、こうした話し合いをまとめ、さらに実践と反省を積み重ねていくことにしています。

# 婦人の声をあつめて31回

## 町婦人問題研究集会

町婦人団体連絡協議会（金田京子会長）の主催する婦人問題研究集会は、今年が第三十一回。一月十八日の集いでは、百二十人が活発に話し合いました。

金田会長は「自分たちが努力すること、話し合っ解決したい課題など、率直に出し合いましょう。」とあいさつ。婦人の話し合いの中に、町の関係者などが助言者として

加わる形で分科会を進行。集会の提言と助言から拾ってみました。（内は助言者から）  
▽当町は自然の魅力がいっぱい。家庭菜園を広め、町づくりに活用したい。  
（町農協で希望の野菜があれば対応して指導します。）  
▽「福祉の町」にふさわしいみんなの交流施設として「ひまわりの家」を活用したい。  
（入浴施設の利用など、多く

の交流を期待しています。）  
▽町の還暦祝いの服装を簡素化しよう。  
（実行委員会と相談して、申し合わせを検討します。）  
▽営農大学の農業研修にも利用できるようにしてほしい。  
（短期研修などができるように協議します。）  
▽駅前前の街区化にともない騒音問題が出ているので対策を考えてほしい。  
（具体的に把握できれば、申し入れなどを行います。）  
このほかゴミ対策、除雪、子育てなどに多くの提言がまとめられました。



「地域の子ども」を大切にしたいーと心は一つ

公民館だより

# 白津

生涯学習ひろば

No. 92

合川町公民館  
(合川町立農村環境改善センター)

合川町李岱字下豊田25番地  
☎(0186)78-2114

## '91冬休みまどびの里こども自然村

### 楽しかった。また来よう。

昨年十二月二十六日から三十日まで、町学童センターを中心にしてまどびの里こども自然村が開かれました。まるで子どもたちを歓迎したような初日の雪で、参加した三十四人の子どもたちは、冬の合川を思い切り楽しんで行ってくれました。

今回は、感想文の中から、ほんのひと言だけ紹介いたします。

#### 東京都 (小五)

岡安 麻衣子さん

はじめてのスキーでころんできたけど、だんだんすべれるようになりました。雪あそびもたのしかったです。ほかにたのしかったことがありますが、いっぱいあります。書いてきかせません。

#### 東京都 (小三)

神崎 郁子さん

合川町では雪がつもって

#### 千葉県 (小四)

成田 理恵子さん

初めての歩くスキーはけっこうむずかしかったです。農家でもスキーやソリで遊ばれました。毎日外で遊んでとてもおもしろかったです。また来たいと思います。

#### 秋田市 (小一)

加藤 彩子さん

はじめてセンターにきたとき、とってもどきどきしてきました。でもなれてきて、おともだちがいっぱいできて、なかよく、たのしくできました。スキーをやったり、そりにのったり、ゆきあそびもしました。

#### 秋田市 (小三)

高橋 祐梨さん

一番たのしかったのはソリ遊びで、二番日は豆でっぽうづくりです。

#### 秋田市 (小三)

板橋 悦子さん

子ども自然村に来た。渡辺先生やくま先生もいた。まだまだいっぱいいる。いろんな友だちもいた。はしづくりは、先生にも手伝ってもらって、竹でながいはしもつくった。

#### 埼玉県 (小六)

渡部 麻由美さん

新しい友だちができてよかったです。はじめてかまくらをつくり中でおかしとみかんを食べました。おいしかったです。

#### 神奈川県 (小四)

大谷 剛史さん

スキーで公園へ行ってリレーをしたら、ぼくたちのチームは負けてしまいました。くやしかったです。でも楽しかったです。



生き生きとした猿倉人形は大好評。思わず手を上げて、身ぶりをまねする子どもたち

# 白津へーわたこがらひついで

東北・北海道フェンシング大会が昨年十二月二十二日、青森県今別町で開催されました。この大会が平成二年にスタートした我スポーツ少年団が参加した初めての大会です。フェンシングといえば、高校から始めるスポーツというイメージがありますが、全国では小・中学校から始めている子供達も多く、特に今大会開催地である今別町では、中学校の部活動でフェンシングに取り組んでいるのには、驚きました。

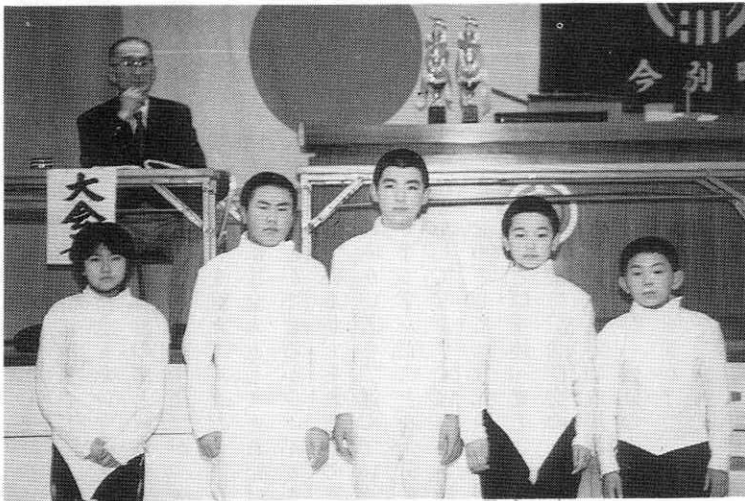
このような選手を相手に、週一回の練習の我々が試合になるのか不安でしたが、子供達は、それぞれの目標に向けて頑張り、勝つ喜び、負けるやささを学び、フェンシングを通じて他県の子供達との交流ができた事に、大変喜んでいました。

試合の結果は次のとおりです。

小学校男子 第九位  
三浦逸人(三木田)  
小学校女子 第七位

## 合川のちびっこフェンサーたち!!

### 合川フェンシングスポーツ少年団



東北・北海道大会で活躍した合川チビっこ剣士たち

成田絢子(李岱) 中学校男子 第三位  
福岡勝也(駅前) 中学校男子 第四位  
佐藤裕和(川井) 中学校男子 第八位  
佐藤雄太(駅前) 今大会をステップに、今年七月二十四日から今別町の

開かれる、第五回全国少年フェンシング大会での上位入賞をめざして練習に励み、フェンシングの愛好者が増えてくれるように、頑張りたいと思っています。

また、スポーツ少年団員を随時募集しています。フェンシングに興味のある方、やってみようと思う方は、町民体育館(☎七七八-二一七八)金田までご連絡ください。

#### 〈図書室利用の案内〉

図書室は、平日はもちろん土、日、祝祭日いつでも利用できます。時間も午前八時三十分～午後九時までとなっております。但し、利用の際には、事務室に一声掛けて下さい。

同朋舎出版

#### 〈芸術〉

◇ハタハタの海(写真集) 八柳 吉彦

#### 〈児童文学〉

◇リトルフットの大冒険 謎の恐竜大陸 J・ルーカス著 金の星社

◇オーロラの下で 戸川 幸夫著 金の星社

◇稲むらの火 中井 常蔵著 金の星社

◇さようならカバくん 早月女勝元著 金の星社

◇社会科学 秋田むがしこ第一集 (日本の昔話9) 未来社刊

◇秋田むがしこ第二集 (日本の昔話12) 未来社刊

◇日本の史跡 全8巻

### 新刊図書

#### 〈歴史〉

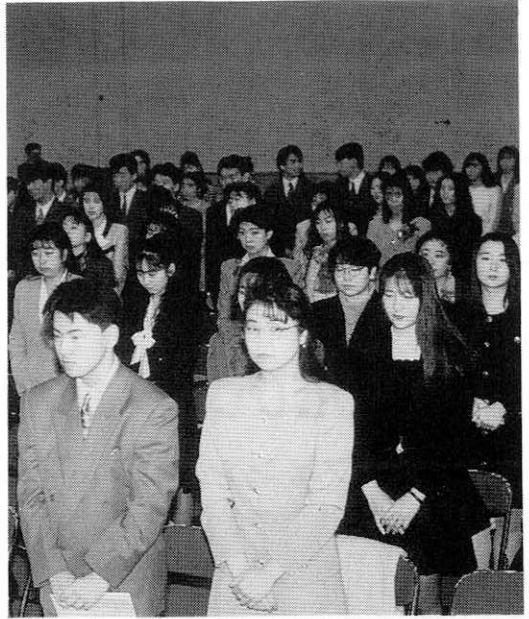
午後九時まで

あなたの時間を

図書室でどうぞ

# 晴れやかに 新春に第1歩

新成人には105名



新成人の点呼には緊張した表情で

今年も県内のトップを切つて一月四日、合川町成人式が改善センターを会場に開かれ、百五人の新成人が多くの人たちの祝福と激励を受け大人の仲間入りをしました。

式典では町民歌斉唱、新成人者点呼のあと、代表の後藤信一さん（下杉）に畠山町長から成人証書と記念品が贈られました。

続いて畠山町長が、「成人になるということは一人前となることで、きょうからは独立した一人の人間として社会に認められることです。これ

からは、成人として社会に役立つ人間に成長されることを心から祈念したい」と式辞。

来賓祝辞のあと成人代表の平川守さん（李岱）が「成人の日を迎えて、まだ未熟な自分に社会人としてどれだけのことができるか少々不安を感じているが、それぞれの目標に向かい若さで進んでいく。今まで学んだことを十分に生かして、よりすばらしい社会をめざしていきたい」と誓いのことを述べました。

最後に記念作文の入選者を表彰。入選者の成田麻子さん（李岱）が「自分の生き方を探していますか?」、佐藤毅さん（川井）が「成人を迎えて二十年後の私に誓う」と題した記念作文を発表し式典を閉式。

このあと、あきた弁劇作家・伊藤武三氏の「人生いろいろ、新春に思う」と題した記念講演を行いました。

記念撮影のあと会場をサンシャインあいかわに移して「新成人のつどい」が行われ、新成人の皆さんは時の過ぎるのも忘れて旧交を温めあつていました。

## 生活の心を綴り続けて...

### 母の実30周年の祝賀会

農家の女性たちが、生活の喜びや悲しみ、悩みなどを綴ってきた文集「母の実」が発刊三十周年を迎え、母の実会（杉湖アイ会長）は、一月十九日農業環境改善センターで記念祝賀会を開きました。

母の実会とは昭和三十六年一月初代会長を努めた故土濃塚イマ元県連合婦人会長らが中心となつて「物言えぬ農婦たちに発言の場を」と、約四十人の主婦が集まつて発足しました。

会の名称を「母の実会」と命名。文集「母の実」発刊に向けてスタートを切りました。

その後、文集は年二回ペースで発刊され、今年が第六十号を刊行。喜び、悩み、悲しみを文字にして訴え続け、記念すべき三十周年を迎えました。

祝賀会には来賓、会員合わせ約六十人が出席。はじめに杉湖会長が「農婦が文字で表現するのが難しい時代に、母の実はこうした婦人たちの声を訴え続けながら、三十年の女の歴史を積み重ねてきた文集です。これからも合川の女の生きて行く心の灯として続けていきたい」とあいさつ。

続いて畠山町長、木村教育長、母の実会発足当時から関係者らのお祝いと励ましが続きました。



祝賀会には来賓、会員合わせ



# 多彩に展示・発表・講演で交流

ふれあいと文化のつどい

カメラ  
スケッチ

一月十一、十二の両日、町農協本所施設で『ふれあいと文化のつどい』が開かれました。昨年秋の産業文化祭が台風災害で中止になったため、「発表の機会をつくりたい」との声の盛り上がりの中で開かれたもので、規模は小さいものの新春らしいふれ合いのつどいになりました。

写真↑ 展示コーナー。文化活動団体・児童作品・ゴミを考える・選挙・交通安全など幅広い展示。→ NHKキャスター小林素子さん(左)オペラ歌手斎藤忠生さん(右)の講演と対談。間半でした。



談  
町文化財協会の展示室では、貴重な展示物の前で懇

郷土芸能、公民館講座、地区ことぶきクラブの発表など、ステージ部門は熱気がいっぱい



## ふるさとの歴史発見——

### 三木田墓地に埋れていた石の碑



雪で刻んだ文字が浮かび歴史への思いをかきたてる——

台風十九号災害は、未だに様々な影響をもたらしていますが、三木田部落では、吹き飛ばされた表土の下から、石の板碑が表われて話題になっています。

見つかった場所は、墓地の無縁墓の隣。

板碑には梵字（ほんじ）古代のインドの文字）と思われる刻みがあり、歴史を伝える大切な板碑ではないかと、注目されています。

町公民館では「石造りの卒塔婆（そとうば）」と見られ、こうした板碑は、鎌倉室町時代に多く建てられた物。梵字の碑は町内では延慶碑（川井）だけだったので貴重なものと思われる」と、これからの調査の進展に期待を寄せています。

## 当町の冬を体験しました

### 2人の海外交換留学生



世界地図を開けて町長室で懇談。左からカレンさん、町長、鈴木誠一さん、へムさん

合川町ライオンズクラブ（鈴木誠一会長）の招きで、二人の海外交換留学生が約二週間、当町に滞在されました。

二人はオーストラリアのカレン・ベネットさんとマレーシアのヘム・チュイ・インさん。一月四日に来町し、長田健一さん（駅前）、関喜作さん（上杉）宅にホームステイ。日本の生活、合川の生活を楽しまれました。役場を訪れて「雪は初めて。もっと降ればいい」と感想。センター児童館を訪ね、厚生員や児童たちと懇談するなど、国際親善にも忙しい日程をさいていただきました。

## まといを先頭に無火災の誓い

### 町消防団の出初式



新年に無火災の誓いを胸に消防団員が行進

町消防出初式は、一月五日に行われ、団員と車輛のパレードで、新年への決意を新たにしました。

伝統を引き継ぐまといに続いて、全団員が行進。はつらつとした号令にきびきびとした行動が、参観者に緊張感を伝えていました。

式典では、功労団員、勤続団員を表彰。伊藤鉄郎団長は「無火災の呼びかけを徹底するとともに、自然災害にも対応できる消防人になり」と団員に訓辞。五年間無火災分団（＝機動分団）、福田部落、摩当少年クラブ、上杉子供会が優良団体として表彰されました。



## 「ふるさとの発展を祈っています」



町出身歌手の参加もあって、なごやかな交流会に

### 町出身者の首都圏阿仁川会で懇親会

『首都圏阿仁川会』の総会と懇親会が一月十五日、都内で開かれた。今年は三百人余りの会員の約半数が出席。町と議会からも、郷土産品などを持参して参加しました。

思い出話や、近況の語らいなど、尽きない交流の中で、会から町に対して『福祉基金』『台風見舞金』として二十万円のご寄付をいただきました。

同会は町出身者の交流と励まし合いのための会で昭和四十一年発足。今総会で前工藤美代松会長が名誉会長に、新しく会長には、和田吉次さん（上杉出身）がなりました。

## 白銀に声援ひびく

### 熱戦——町民スキー大会



タッチ。チームの一段と強い応援を受けて……

第十八回町民スキー大会は一月十九日、大野台ハイランドで開かれました。大声援の中、ガンバった選手たち、ごくろう様でした。優勝者は次のとおり。

男子一年 桜田喜寿（木戸石） 二年 桜田幸佑（木戸石） 三年 高橋幸太（下杉） 四年 松井優征（美栄） 五年 三浦正勅（三木田） 六年 木村陽悦（李岱） リレー：ザ・ボイズ（北小） 一般三十五歳未満 藤原鶴治（三友電気） 三十五歳以上 木村等（愛生園） 女子一年 桜田祐子（東根田） 二年 松岡奈津美（羽根山） 三年 中村理恵（木戸石） 四年 佐々木稚沙（下杉） 五年 藤田睦美（林岱） 六年 伊藤美子（松ヶ丘） リレー：北っ子ダッシュ（北小） 一般 泉谷紀子（愛生園）

## マンホールに注目ください

### 上杉集排に梅の花のデザイン



集落排水事業の理解をすすめるためにも、グットデザイン、と好評の新マンホール

近代的な生活環境を整備するため町では現在、上杉地区と三里地区で集落排水施設の布設を進めています。

このうち上杉地区の幹線に町の独自デザインのマンホールが使われています。マンホールは町の木「梅」をデザイン。紅梅と白梅が十二輪、町章をとり囲み、梅の花の咲き誇る町の様子を表しています。当町産品の『北の梅』（『梅づけ』）は首都圏の人たちに、ふるさとの味として好評。新デザインのマンホールは、豊かな自然と美しい町のシンボルとして、目をひいています。

# 正しい選挙

## みんなの願い

川町選挙管理委員会では一月三十日に会議を開き、町議会議員選挙の投票日を、三月二十九日と決定しました。私たちのくらしに、最も身近な選挙だけに、明るく正しい選挙にしようとの幅広い呼びかけが行われています。

## 強い決意で 啓発活動

### 明るい選挙推進協議会

合川町明るい選挙推進協議会は、正しい選挙のための活動を広めるために、町内各団体の代表者などで行われています。十二月には、婦人会の役員などで拡大推進協議会が開かれ、町議会議員選挙に向けての呼びかけが話し合われました。

「若い人たちが、選挙に心が低いので心配。」  
「投票所のふんい気が堅苦しい。何か工夫はないか。」  
「明るい選挙、暗い選挙と言っても、実例をあげないと

わからぬのではないか。」  
「などの意見をまとめて、具体的な活動が決められました。特に、「婦人が中心になって、小さな問題でも通報し合っ

て話し合っていこう」と強い決意がまとめられました。推進協議会では、これらの話し合いをもとに、毎戸チラシの配布などを予定しています。

## 選挙権を 確めましょう

◎町外在住の学生は、町の選挙人名簿に登録されません。就学のため町外の寮、下宿等に住んでいる人は、特別の事情が無い限り、その寮、下宿等の所在地にしか選挙権が

ありません。町選挙管理委員会では、こうした内容の確認のため郵便などで本人に照会する場合があります。ご協力ください。



町議選挙に向けて、明るい選挙の推進を話し合っている様子。

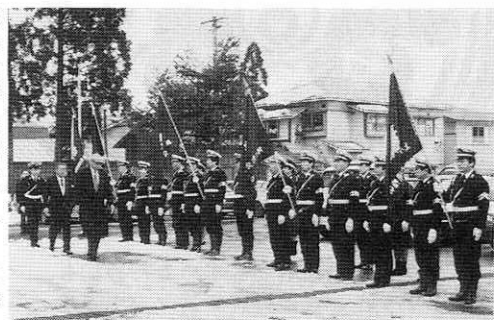
## 12月・1月 なぜか続々と 飲酒運転

昨年、当町（住所者）の飲酒運転違反は十五件。人口当りの違反率などの全県比較では最下位クラスの悪い成績です。

そして、新年に入ってから四件の飲酒運転が発生。一月には、交通指導隊、交通安全協会の会議が続き、こうした違反者への恐りと、事故防止にむけての活動が話し合われています。

飲酒運転の検挙者が多いのは、不名誉な記録ですが、会議では「何よりも、飲酒運転事故だけは防ぎたい」という、

決意を新たに、阿仁部交通指導隊連合会の出初式



切実な訴えが聞かれました。「飲酒運転の多い町」——こんな残念なイメージは、無くしましょう。「福祉の町」にふさわしい、安全で安らぎのある町をつくりたいものです。

## みんなの願い

# 交通事故ゼロ

呼びかけます。

「昨年末に当町、上小阿仁村と続いた死亡事故の記憶は、もう消えたのでしょうか？」こんな疑問が語られるのは、今年に入って、当町ではすでに四件の飲酒運転違反者が出て

いるからです。飲酒運転追放と交通死亡事故ゼロにむけて、改めて、一人ひとりに注意を

# じどうかんづうしん

10

こともといっし  
よに、よんでく  
ださい

## たこたこあがれ

### 手作り風 空に舞う

児童館では、一月の行事として、手づくり風紙に挑戦しました。

大きな和紙に好きな絵をかき、ポスターカラーで色付けをしました。乾いたところで、竹ひごをつかい骨組みをし、完成させました。

今ではすっかり見られなくなった風上げだけに子供たち



上||思い思いに夢いっぱい  
の絵を描く(三里) 右||完成  
うまく空に舞ったでしょうか  
(増沢)



も、わくわく顔でした。走りつづけると舞い上がりませんが、止まるとすぐに落ちてきます。それでも子供たちは昔ながらの遊びに触れることができ満足顔でした。

ご参加ください

### 鷹巣阿仁農業者

### 交流集會に

将来の農業を考える体験発表などの交流集會が開かれます。各町村・農協の取扱い産品、加工品の展示なども行われますので、ご参加ください。

二月十三日(木)午前十時~午後三時十五分

鷹巣阿仁広域交流センター

内容 講演「鷹巣阿仁地域の農業生産を考える」秋田県農業試験場・阿部健一郎農学博士 実践発表||後藤久美さんほか七氏が生産・経営・流通・担い手などについて発表し、意見交換なども行ないます。昼食||主催者で準備します。(問い合わせ先||鷹巣農業改良普及所 六二一-一八三五) 町県民税・所得税の

### 申告相談は

3月14日まで

二月一日から町内各地区を巡回して町県民税の申告相談を行います。

申告相談では、町県民税のほか所得税(国税)についての相談、申告も受け付けします。各家庭に、案内チラシを配布しますので、相談日を忘れず各地区の会場においてください。

なお、税務署から通知されている人、営業譲渡等の所得のある人は二月十九日、森吉町コミュニティセンターで税務署相談がありますので、必ず、その日、相談ください。

### 農耕用軽油 免税の手續き

申請日時||二月十七日午前十時~十一時 午後一時~三時 場所||役場会議室 申請に必要なもの||①印鑑 ②耕作証明書 ③免税軽油使用者証 ④平成三年に購入した免税軽油納品書 ④機械購入証明書 (初めて申請する場合、機械に変更があった場合のみ) ⑤県紙代三百五十円

注||①・②は共同申請の場合 全員のもの ③・④は初めて申請する場合は必要なし 交付||二月二十一日午前十時より

問い合わせ先||北秋田県税事務所(☎〇一八六一四九一二二二)

ご相談ください

### 自動車事故

### 対策センターに

自動車事故対策センターは車の事故防止と被害者の保護などを目的に、国などの出資で運営されている機関です。

▽交通遺児への貸付制度

▽交通遺児の家庭相談

▽重度後遺障害者介護料の支給

など、お気軽に相談ください。

自動車事故対策センター秋田支所(秋田市八橋大畑二二二-五三 ☎〇一八八一六三-一五八七五)

### 財形貯蓄者に 教育融資

財形貯蓄をしている人、またはその親族の人に進学修学のための融資制度があります。進学資金三百万円以内、修学資金百五十万円以内。利率七・八%。くわしくは財形貯蓄先金融機関でおたずねください。

# 今年も『まじっく』を届けます

## 合川ふるさと会員募集中

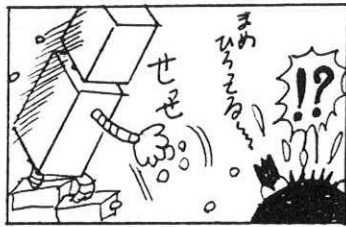
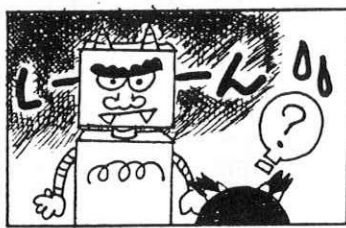
合川ふるさと会が発足して五年目を迎えました。町出身者ばかりでなく全国の合川ファンに支えられて、一層深いつながりを求めています。

平成四年会員を募集中です。ので、ぜひ、多くの方々に参加の呼びかけをお願いします。

【会員には】

▽年会費一万円。▽年二回、ふるさとの味をお届けします。▽広報あいかわを毎月お届けします。

会員になられている方は、脱退届がない限り会員とします。申し込みは、役場商工課



## 忘れないでね 景観への 気配りも!

### リゾート景観にガイドライン

光課内・ふるさと会事務局にお寄せください。

北緯40度シーズナルリゾートあきた構想の中で、当町大

野台地内の「北欧の杜」公園をはじめ豊かな自然を生かした開発が行われています。

ところで、観光地などで、建物や工事のせいで、せっかくの景観がこわされている

と感じたことはありませんか。リゾートあきた構想の中にこ

うした景観破壊が起きないように、県と関係町村などが相

談して『自然との調和』をめざした指針をまとめました。

大野台地内あるいは周辺で建物を立てる場合、地形を変え

る工事を行う場合は、色彩、高さなど、この指針を参考に

してください。

もちろんゴミの持ち帰り、植物の保護など、日常的な美

化にも協力ください。指針のパンフレットでは『秋田は自

然がわかる先進地です』と呼

びかけています。くわしくは県庁内リゾート推進事務局または役場総務課（☎七八二二〇〇）におたずねください。

## あきたリゾート ライン写真募集

風景の美しさとふるさとの

情緒を紹介するために展示、活用するものです。大きさ四ツ切以上。撮影年月日、場所、写真の簡単な説明、住所、氏名、年齢、職業、連絡先を記入。応募締切り十二月三十一日 賞金最優秀賞五万円他 送り先五城目町役場内秋田リゾートライン活性化協議会事務局

## 奥さんは 年金をもらえますか

こんな場合？

四十歳の主婦です。家庭の事情で今まで国民年金保険料を払っていません。年金は受けられますか。

すぐに手続きを

サラリーマンの主婦の方ならば国民年金の第三号被保険者の届け出は済んでいるでしょうか。

この場合、第三号被保険者になっていまずと、六十歳になって国民年金に任意

### 国民年金係から

加入することが必要です。通算して受給資格期間の二十五年を満たすと、老齢基礎年金を受けることができます。ただし満額ではありません。御主人の職業の変動によって、手続きをおこたると受給できなくなる場合もあります。自分の年金、夫や妻の年金一手続きはだいじょうぶでしょうか。もう一度お確かめください。相談窓口は、役場福祉課（☎七八二二二三）です。

# 慶弔だより

(12月届)

【お誕生おめでとうございます】

- 木村 亮太ちゃん 雅親 さんの長男 (李 岱)
- 金田 純佳ちゃん 久人 さんの二女 (摩 当)
- 高谷 森ちゃん 憲仁 さんの二男 (芹 沢)
- 安田 智祥ちゃん 哲也 さんの二男 (摩 当)
- 齊藤 霞ちゃん 教明 さんの三女 (林 岱)
- 齊藤 采ちゃん 学美 さんの長男 (新田目)
- 高谷 祥平ちゃん 重幸 さんの長男 (芹 沢)
- 金田 美紅ちゃん 徹朋 さんの長女 (西根田)
- 櫻田 優平ちゃん 幹夫 さんの長男 (東根田)

【ご結婚いつまでもお幸せに】

- ( 湊 義彦さん (阿仁町)
- ( 吉田 幸子さん (駅前)
- ( 金田 輝義さん (新田目)
- ( 佐藤 富士子さん (田代町)

【謹んでおみやみ申し上げます】

- 吉田金一郎 川井 キミエ 夫
- 平元 シノ 美栄 エコーハイツ
- 成田 浩幸 李 岱 喜一郎 長男
- 藤嶋ヤエ子 木戸石 照 明 妻
- 畠山 富蔵 木戸石 勝 治 父
- 近藤芳治郎 梅 栄 サダ 夫
- 本間四郎兵エ 鎌沢 あい 夫
- 松橋 トミ 下 杉 清二 母
- 津幡 宇吉 道 城 イヨ 夫
- 高橋 光義 八幡岱 イマ 夫
- 佐藤 オマ 川 井 キエ 母
- 畠山 ヨコ 木戸石 虎 雄 母
- 松橋 勇蔵 三 里 佑 子 夫

松橋 八郎 道 城 ヤシエ 夫

## 善意のご寄付

(敬称略)

【香典返しにかえて】

- 川 井 吉田 道男 故父 金一郎
- 李 岱 近藤 義男 故父 源太郎
- 李 岱 成田喜一郎 故長男 浩幸
- 道 城 松橋 直一 故弟 直之助
- 下 杉 松橋 清二 故母 ト ミ
- 木戸石 藤嶋 照明 故妻 ヤエ子
- 鎌 沢 本間 あい 故夫四郎兵エ
- 木戸石 畠山 勝治 故父 富 蔵
- 三 里 松橋 博実 故父 勇 蔵
- 八幡岱 高橋 忠 故長男光 義
- 道 城 津幡 光雄 故父 宇 吉
- 木戸石 畠山 虎雄 故母 ヨ コ

【一般寄付】

山形市江南1の21の6番 落合良子  
 川崎市川崎区下並木64 株式会社木村  
 総合サービス 代表取締役 木村勝郎

【広報郵送料として】

秋田市茨島6-20-15 齊藤義郎  
 千葉県印旛郡栄町安食台2-18-13 畠山幹夫

町国保診療所長に二月一日から星野孝男先生が赴任されます。星野先生は平成四年五月三十一日までの予定です。よろしく願います。

### 診療所長に 星野先生

### 活用しましょう

### 被害 森林の補助

台風19号で森林被害をうけ

整理と植栽を行った人には、補助金があります。補助金額は被害木の林齢によって違います。(例||林齢六十年生・三反歩で五十三万円など、広報前号でも紹介)役場農林課、町森林組合にご相談を。

### 町長日記から

工事が三木田まで進むことになりそうだ。

東京都内では、宿にコートを預かって用件を足す。それほど暖く、また、訪問先にコートを置く場所が無い。

新幹線の帰路、盛岡が近くと雪になり、仙岩峠は豪雪の様相になる。

帰町して、森吉山ダムの説明会に出席。平成十一年完成のスケジュールを聴く。その間に町の上水道の幹線工事が完了しなければならぬ。平成三年度は、この

八幡岱から、台風で神社が壊れて、その工事のため部落の山林の一部を町が買うよう申し入れがあった。

談(だん) たまたま、話が昔ばなしになり、八幡岱の南側は先住民のかなり大きな生活の場であって、土器石器が多く出るから、数多くの家にそれが保存されている。これを展示する機会を持つたらと、意見が交わされた。

(義)

# 今月の 行事予定

平成4年12月末日  
住民登録人口調べ

人口

男 4,255人(+1)

女 4,628人(+1)

計 8,883人(+2)

転入 13人 転出 6人

世帯数 2,322世帯(+1)

## チビツ子美術館



スキーをしているところ



いずみ たかひろくん

(みなみほいくえん・ひまわりぐみ)

日	曜	行事名	場所	厚生員訪問
1	土	母子手帳交付日	保健センター	児童館 センター
2	日			
3	月			上杉、八幡岱
4	火	栄養講座	道城児童館	三里、杉山田
5	水	スポーツ教室	町民体育館	羽根山、道城
6	木	デイケア	保健センター	増沢、芹沢
7	金			摩当、桃栄
8	土	土曜閉庁		李岱、新田目
9	日			
10	月			下杉、西根田
11	火			松ヶ丘、木戸石
12	水	スポーツ教室	町民体育館	川井、駅前 チビッコハウス
13	木	デイケア	保健センター	三木田、鎌沢
14	金	寿クラブ栄養講座 部落巡回健康相談	新田目児童館 李岱・増沢	美栄、東根田
15	土	母子手帳交付日	保健センター	上杉、八幡岱
16	日			
17	月	部落巡回健康相談	西根田改善センター 川井公民館	三里、杉山田
18	火	部落巡回健康相談	新田目児童館 三里担い手センター	羽根山、芹沢
19	水	リハビリ学級 スポーツ教室	保健センター 町民体育館	増沢、道城
20	木	デイケア	保健センター	摩当、桃栄
21	金	寿クラブ栄養講座 一才児健診	李岱研修施設 保健センター	李岱、新田目
22	土	土曜閉庁		下杉、西根田
23	日			
24	月	ことぶきクラブ栄養講座	芹沢集会施設	川井、木戸石
25	火			松ヶ丘、駅前 チビッコハウス
26	水	スポーツ教室	町民体育館	三木田、鎌沢
27	木	デイケア 育児相談・乳児健診	保健センター	美栄、東根田
28	金	おばあちゃんの栄養教室	保健センター	上杉、八幡岱
29	土	母子手帳交付日	保健センター	三里、杉山田